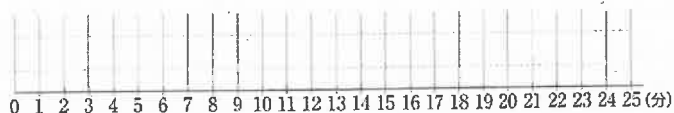


- ① ある生徒9人の通学時間を調べたところ、次のようになった。このデータについて、あとの問いに答えなさい。

16, 10, 9, 3, 13, 24, 11, 20, 5 (単位: 分)

- (1) 四分位数を求めなさい。

- (2) 箱ひげ図をかきなさい。



- ② 次の確率を求めなさい。

- (1) 1つのさいころを投げるとき、6の約数の目が出る確率

- (2) ジョーカーを除く52枚のトランプから1枚ひくとき、カードのマークがハートである確率

- ③ 3枚の硬貨を同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。

- (1) 3枚とも裏が出る確率

- (2) 少なくとも1枚は裏が出る確率

① 6点×4

第1四分位数
(1)
中央値(第2四分位数)
第3四分位数
(2) 左の図にかき入れなさい。

⇒ p.114

② 8点×2

(1)
(2)

⇒ p.118

③ 8点×2

(1)
(2)

⇒ p.120

- ④ 大小2つのさいころを同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。

- (1) 目の数の和が8になる確率

- (2) 目の数の差が1になる確率

④ 8点×2

(1)
(2)

⇒ p.120

- ⑤ 赤玉2個と白玉2個がはいっている袋の中から同時に2個の玉を取り出すとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 2個とも赤玉である確率を求めなさい。

- (2) 少なくとも1個は白玉である確率を求めなさい。

⑤ 8点×2

(1)
(2)

⇒ p.122

- ⑥ 3本のくじの中に1本のあたりくじが入っている。このくじを3人で順番に1本ずつひくとき、あたりくじをひくためには、何番目にひくのがよいと考えられますか。説明しなさい。ただし、取り出したくじはもどさないものとする。

⑥ 12点

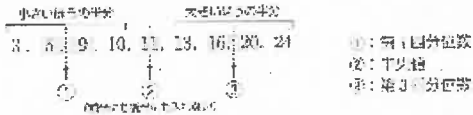
--

数学学習プリント(期末の範囲の復習プリント)解答

- ① ある生徒9人の通学時間を調べたとある。次のようになった。このデータについて、あとの問いに答えなさい。

16, 10, 9, 3, 13, 24, 11, 20, 5 (単位: 分)

- (1) 四分位数を求めなさい。
 ② データの値を小さい順に並べると、

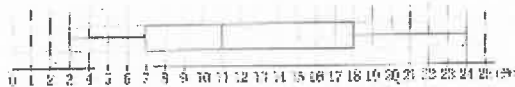


中央値は、11(分)

第1四分位数は、小さいほうの半分の中央値、つまり、5と9の平均値だから、7(分)

第3四分位数は、大きいほうの半分の中央値、つまり、16と20の平均値だから、18(分)

- (2) 箱ひげ図をかきなさい。



- ② 次の確率を求めなさい。

- (1) 1つのさいころを投げるとき、6の点数の目が出る確率

- ② 目の出方は全部で6通り。

6の点数の目が出る場合は、1, 2, 3, 6の4通り。

$$\text{確率は } \frac{4}{6} = \frac{2}{3}$$

- (2) ジョーカーを除く52枚のトランプから1枚ひくと、カードのマークがハートである確率

- ② ハートの枚数は全部で13通り。

マークがハートである場合は13通り。

$$\text{確率は } \frac{13}{52} = \frac{1}{4}$$

- ③ 3枚の硬貨を同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。

- (1) 3枚とも表が出る確率

- ② 3枚の硬貨を硬貨A、硬貨B、硬貨Cとする。

表が出ることを○、裏が出ることを△と表して樹形図をかくと、右の図ようになる。

つまり、起こりうる場合は全部で8通り。

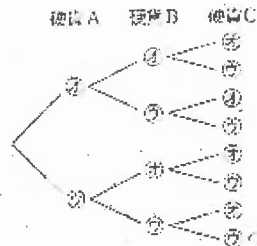
このうち3枚とも表が出るのは、①の1通り。

$$\text{確率は } \frac{1}{8}$$

- (2) 少なくとも1枚は表が出る確率

- ② 「3枚とも表が出る」が起こらない確率だから、

$$1 - \frac{1}{8} = \frac{7}{8}$$



①	6点×4
(1)	第1四分位数 7分
	中央値(第2四分位数) 11分
	第3四分位数 18分
(2)	左の図にかき入れなさい。

② p.114

②	8点×2
(1)	$\frac{2}{3}$
(2)	$\frac{1}{4}$

② p.118

③	8点×2
(1)	$\frac{1}{8}$
(2)	$\frac{7}{8}$

② p.120

- ④ 大小2つのさいころを同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。

- (1) 目の数の和が8になる確率

- ② 起こりうる場合は全部で36通り。

目の数の和が8となるのは、

(2, 6), (3, 5), (4, 4), (5, 3), (6, 2) の5通り。

$$\text{確率は } \frac{5}{36}$$

- (2) 目の数の差が1になる確率

- ② 目の数の差が1となるのは、

(1, 2), (2, 1), (2, 3), (3, 2), (3, 4), (4, 3), (4, 5), (5, 4), (5, 6), (6, 5) の10通り。

$$\text{確率は } \frac{10}{36} = \frac{5}{18}$$

- ⑤ 赤玉2個と白玉2個がはいっている袋の中から同時に2個の玉を取り出すとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 2個とも赤玉である確率を求めなさい。

- ② 赤玉を①, ②, 白玉を③, ④で表すと、玉の取り出し方は、全部で次の6通り。

①, ②, ①, ③, ①, ④,

②, ③, ②, ④,

③, ④,

2個とも赤玉であるのは、①, ②の1通り。

$$\text{よって、求める確率は } \frac{1}{6}$$

- (2) 少なくとも1個は白玉である確率を求めなさい。

- ② (1)が起こらない場合の確率だから、

$$1 - \frac{1}{6} = \frac{5}{6}$$

- ⑥ 3本のくじの中に1本のあたりくじが入っている。

このくじを3人で順番に1本ずつひくとき、あたりくじをひくためには、何番目にひくのがよいと考えられますか。説明しなさい。ただし、取り出したくじはもとさないものとする。

- ② あたりくじを①, はずれくじを②, ③で表して樹形図をかくと、右の図ようになる。

起こりうるすべての場合は6通りで、1番目にあたる場合も、2番目、3番目にあたる場合も、

すべて2通り。

したがって、何番目にひいても、

あたる確率は、 $\frac{2}{6} = \frac{1}{3}$



- ⑥ 12点

1番目でも2番目でも3番目でも、あたりくじをひく確率は $\frac{1}{3}$ となり、同じである。したがって、ひく順番は何番目でもよい。

② p.124

何番目にひいても、あたる確率は同じだね。

